

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和3年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	唐津市立鏡中学校
-----	----------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> いじめや差別を見抜き、許さない人権・同和教育の推進を図る。 生徒の学習意欲を高め、学びに向かわせる授業を確立する。また、家庭と連携を図りながら、家庭学習の充実を目指す。 SDGsの視点を意識した教育活動の展開を行い、防災教育に力を入れる。 タイムマネジメントを意識した教職員の働き方改革を推進し、業務の効率化と時間外勤務時間の削減を目指す。
------------------	---

2 学校教育目標	ともに学び 心がふれあう学校
----------	----------------

3 本年度の重点目標	①学びに向かう力を高める ②校則の見直しに取り組む ③新たな校風(学年が上がるにつれての規範意識の高揚)の樹立を目指す
------------	---

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	
---------------	------	--------	--

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。							・学力向上対策コーディネーター ・研究主任
	○学びに向かう力を高める学習活動の研究 ○Aさんをやる気にさせるような指導法の工夫	○苦手な教科の勉強をしている生徒の割合が70%以上。 ○平日に学年+10分以上の家庭学習(塾を含む)をしている生徒の割合50%以上。 ○Aさんをやる気にさせるための実践紹介を行った教員100%。	・Aさんをやる気にさせるための実践紹介 ・ターゲットになる生徒をしぼり、学びに向かう開発的生徒指導型授業の構築を図る。							・研究主任 ・学力向上対策コーディネーター
	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○質問紙調査の「人が困っているときは、進んで助けている」と肯定的な回答をした生徒が80%以上。	・人権講演会(人権集会)や道徳に関するアンケートの実施 ・道徳科の授業づくりに関する校内研修等の実施 ・保護者や地域の方と連携したボランティア活動の実施							・道徳教育推進教師 ・人権・同和教育担当者 ・各学年主任
●心の教育	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事業対処等)について組織的な対応ができていると回答した教員100%。	・いじめ対応についての研修・会議を年間に3回以上行う。							・生徒指導主事 ・各学年生活指導担当
	◎生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	○「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした生徒が80%以上。	・開発的生徒指導の推進による新たな校風(学年が上がるごとに規範意識の高揚)の樹立を図る。 ・各種体験活動では、生徒に活動の見直しと学びの振り返りを行う活動を仕組む。							・各学年主任 ・各担任
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に食事は大切である」と考える生徒95%以上。 ●毎日朝食をとって登校する生徒95%以上	・生活状況調査、食に関する意識調査の実施 ・保健だよりの発行							・食育担当 ・養護教諭
	○将来を生き抜くための防災教育の導入	○年度内に講師を招聘し、防災教育を実施する。	・日本赤十字社(佐賀支部)からの講師招聘							・各学年主任 ・各担任
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間(月45時間以内)を遵守する職員80%以上。	・定時退勤日(毎週水曜日)の動行 ・部活動休養日の設定							・管理職
	○タイムマネジメントの導入による自主自立の精神の涵養	○タイムマネジメントの導入により、自身が時間を意識して業務改善を行うようになった教員80%以上。	・退勤予定時刻(ホワイトボードへの記入)の掲示による可視化							・管理職

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○特別支援教育の視点による生徒対応及び支援を要する生徒の早期発見・早期対応	○教員の専門性と意識の向上 ○「チーム鏡」で諸問題解決に組織で対応	○特別支援教育の視点による生徒対応力が向上した教員が85%以上。 ○学校評価保護者アンケートにおいて、「学校は、安心・安全で、いじめのない学校・学級づくりに努めている」の肯定的評価90%以上。	・特別支援教育に関する研修会の実施 ・支援会議(ケース会議)の定期的な開催と職員間の情報共有 ・SCやSSWまたは関係諸機関との積極的な連携							・特別支援教育コーディネーター ・教育相談主任 ・生徒指導主事
○校則の見直しによる自主・自律の精神の高揚	○制服の見直しを含めた校則の見直しを行う	○生徒会や育友会と連携し、年度内の制服の見直しを含めた校則の見直しの実施。	・生徒会や育友会と連携による校則の見直し							・生徒指導主事
○SDGsの視点を意識した教育活動の展開	○SDGsの担い手となる人を育てる「質の高い教育の提供」	○SDGsを意識した教育の実践を心がけた教員が85%以上。	・「SDGs～持続可能な開発目標～」を意識した授業の展開を通して、持続可能な社会を創るために学ぶことを伝える。							・各教科担当 ・各学年

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------